

特集 / JPS イギリス切手部会が選ぶ

『イギリス切手』ベスト50!!

1位

ペニーブラック(1840年)

世界最初に発行された切手。郵便料金の均一法は、1839年8月に議会を通ったが切手の印刷が間に合わず、1840年5月6日の発行となった。刷色は黒で重厚な感じであったが、抹消印が見にくいため、1841年には赤色に替えられ、ペニーレッドが登場した。[200%]



▲式典用馬車 (絵はがきより)

2位

シーホース £1 (1913年)

馬の頭を持った神話上の海獣を図案に高額4種で発行された。発行当時、イギリスばかりでなく、世界中で人気を集めた。印刷会社はウォーターロウ社、デラルー社、ブラッドベリー社の3社が担当し、1934年には背景の斜線を網目に替えた改訂版が発行されている。



3位

ワイルディング
古城シリーズ10s(1955年)

ワイルディングシリーズの高額として4種発行された。10sはエジンバラ城が描かれている。このシリーズは1968年まで、すかしなどを替えて5回発行されている。



世界最初の切手がイギリスで発行され、今年で170年。今回はJPSイギリス部会の方々にご協力をいただき、「イギリス切手」ベスト50!!”をご紹介します。美しいイギリス切手の数々をお楽しみください。(編) [構成・監修] JPSイギリス切手部会

4位



エンボス タイプ 1s (1847年)

エンボス加工と同時に凹版で印刷された。無目打でマージンが狭いのが特徴。フルマージンのは極めて少なく、カタログ評価も高い。上はその見本(SPECIMEN)字入り。

5位



UPU大会議(1929年)

UPUの大会議がロンドンで開催されたのを記念して5種が発行されたが、高額£1は黒色の大型切手で人気が高い。同時に低額の切手帳も発行されている。

6位



プレデシマル マーチン10s (1969年)

プレデシマルシリーズの高額4種の中で最も人気があり、特に10sは女王の横顔が美しい。

7位



※2～3ページ、特記外、150%拡大。

ペニーレッド 4コーナー小文字入り(1864年)
この切手は4隅に色付きのアルファベット小文字が入られ、さらにプレートナンバールと呼ばれる版番号が印面内に小さく入れられている。これらの組み合わせにより、さまざまな分類が可能で、幅広いファンを持つ切手である。「200%」

“ベスト50”を選ぶにあたって

イギリス切手の“ベスト50”を選んでほしいとの依頼を受け、その基準をどうするか検討の結果、国王の交代を一つの手がかりとして選んでみることにしました。

何と言ってもイギリスは、世界で最初に切手を発行した国であるとの自負があります。その一つの表れが、切手に国名を表示をしていない唯一の国であることでしょう。切手にあまり興味を持たない人でも、エリザベス女王の肖像が入った切手を見れば、イギリスの

切手だとわかると思います。

ビクトリア女王時代の1840年に最初の切手を発行して以降、エドワード7世、ジョージ5世、エドワード8世、ジョージ6世、エリザベス2世と王位が継承される度に王の肖像を表示した切手を発行し、国の力を内外に誇示してきたといえるでしょう。

このような状況の中、それぞれの時代を考慮しながら、切手としての評価が高いもの、デザインが優れ人気のあるもの、またニュース性の高い切手などを中心に、ベ

スト50を選定しました。

以下、国王の移り変わりとともに、イギリス切手の変遷を簡単に紹介します。

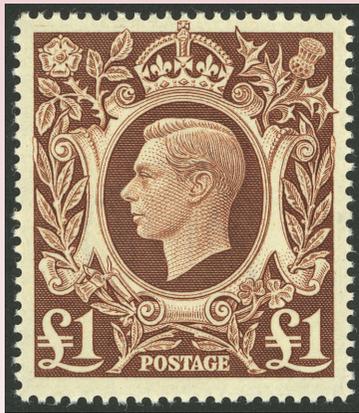
ビクトリア女王時代

〔在位：1837.6.20～1901.1.22〕

ローランド・ヒルが郵便料金均一制度を提唱し、1839年8月17日に統一郵便税法が議会通过、切手の図案が募集され、最終的にはローランド・ヒルの案(ビクトリア女王の横顔)が用いられました。

このようにして1840年5月6日に発行されたのが、「ペニーブ

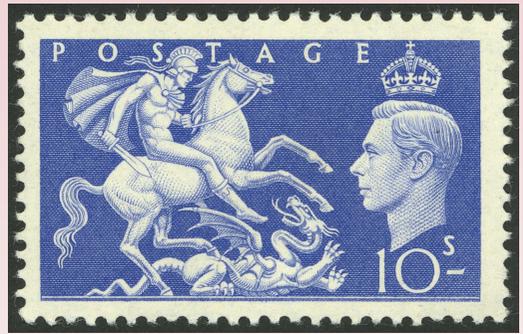
8位



ジョージ6世紋章£1(1948年)

ジョージ6世シリーズ最初の高額4種のうちの最高額面で、大きな紋章図案に人気がある。

9位



ジョージ6世横長高額10s(1951年)

紋章図案に続き発行された普通高額シリーズ。横長の記念切手スタイルで4種が発行された。

ベスト10には凹版切手を中心に 19~21世紀の3世紀にわたる名品が勢揃い!



10位

ロンドン国際切手展/ジョージ5世 戴冠100周年小型シート(2010年)

ロンドン国際切手展とジョージ5世の戴冠100周年を記念して発行された。エリザベス2世とダブルヘッドというユニークな図案で、刷色の赤が印象深い。シート、切手帳も発行されている。[75%]

ラック(ブラックベニー) (1/数字は順位を示す、以下同)と呼ばれる黒色を基調とした切手です。

翌1841年にはベニーレッド(7)が誕生し、約40年にわたり使用されました。この間、1854年にはシートの切り離しを容易にするための目打が入られました。

1847年に発行されたエンボス加工を施した高額切手(4)は、印面周辺のマージンが狭いため、フルマージンのものは少なく、人気のあるユニークな切手です。また1882年には当時の最高額となる

5ポンド切手(12)が発行され、大変高価な切手となっています。

イギリス郵政ではベニーブラック発行当初より、偽造の防止に注力しており、ビクトリア時代の切手だけで実に14種類ものすかしを入れています。このような変化も郵趣家を楽しませる要因になっています(9号コラム②参照)。

エドワード7世時代

[在位: 1901.1.22~1910.5.6]

60歳で即位した王は、前の時代の余勢を保つだけで十分な状況で、この時代に発行した切手は、

ビクトリア時代のジュビリーシリーズの肖像を入れ替えて発行したものだけでした(13~15)。

その中で、死去2日前の5月4日に発行された新額面の7ペンス(15)は黒灰色であったため、「大喪切手」と呼ばれています。

なお、当時はまだ記念切手の考え方はなく、即位戴冠式などの記念切手は発行されていません。

ジョージ5世時代

[在位: 1910.5.6~1936.1.20]

ジョージ5世の最初の切手は、1911年6月22日の戴冠式当日に



11位



12位

ビクトリア凸版 4コーナー大文字入り(1867年)
4つのコーナーに白抜きの大文字が入っており、プレートナンバーは「1」と「3」の2種がある。[200%]

ビクトリア高額£5(1882年)

ビクトリア時代の最高額面で、ほとんどが印紙として使用されたと思われる。イギリス切手の収集にはぜひとも1枚は加えたいマテリアル。



13位

郵便最盛期の時代を迎え、年間9億枚のポストカードが配達されたといわれている。その魁になった1枚である。[200%]

エドワード7世1d(1902年)



15位

エドワード7世後期に発行された額面で、発行日が死去の2日前。しかも刷色が黒灰であったため、「大喪切手」と話題になった。[200%]

エドワード7世7d(1910年)

11〜20位には1〜10ポンドまでの多くの高額面切手が登場!



14位

エドワード7世£1(1902年)

エドワード7世時代の最高額面。落ち着いた緑色の大型切手で、根強い人気がある。

発行されました。

この切手は、皇室写真師のダウニーの写真をもとにデザインされたので、「ダウニーヘッド」(21)と呼ばれています。しかし、印面下部に描かれたライオンのしわが大英帝国の落日を暗示していると非難を受けたため、急遽ライオンを太らせ、第2版が作られたいわくつきの切手です。

イギリスでは、この時代から記念特殊切手を発行するようになりましたが、普通切手同様、ジョージ5世の肖像を必ず入れ、国名表示はしていません。

ジョージ5世は有名な切手コレクターで、切手の図案にも細かい指示を出しています。なかでも1913年に発行されたシーホース図案の切手(2)は、33年ぶりに復

活した凹版切手で、切手史上に残る傑作として有名です。

1929年発行のUPU大会議記念1ポンド(5)は、大型の黒色を基調にした切手で、イギリス切手を代表する1枚になっています。

そして1935年にはジョージ5世の在位25年を記念(17)し、大英帝国の威光を内外に示すべく、英領各国にも同一図案での切手発行

16位



大英帝国博覧会 1925年(1925年)

イギリス最初の記念切手で、イギリスを象徴するライオン図柄になっている。博覧会は1924年、1925年の2年間にわたったため、同図案でそれぞれの年に発行され、博覧会会場の郵便局のみで発売された。1925年の方が人気があり、カタログ評価も高い。

17位



ジョージ5世在位25年 2 1/2 d (プルシャンブルー)(1935年)

オムニバス形式での発行の先駆けとなった切手。上は中でも有名な刷色エラーで、現在では試刷品が何かの手違いで郵便局で販売されたとの説が有力。ギボンスカタログではカタログナンバーを設けている。

18位



デシマルマーチン1/2p(1971年)
今に続くマーチンシリーズの一番切手として人気がある。分類すればこの1/2pだけでアルバム1冊になるといわれている。[200%]

19位



デシマルマーチン£5(1977年)
でもあり、人気がある。マーチンシリーズの最初の高額面で、大型

※4～5ページ、特記外、150%拡大。

20位

最高額面 £10(1993年)

高額面の需要に対応するため発行されたが、偽造を懸念し、エンボスや蛍光毛紙、蛍光インクなどあらゆる偽造防止策が施されている。大型切手として特に郵便使用の使用済に人気がある。[120%]



を命じ、オムニバス形式での切手発行の先駆けとなりました。

エドワード8世時代

【在位：1936.1.20～1936.12.11】

エドワード8世は、シンプソン夫人との結婚問題で議会と対立し、1936年1月20日の即位から1936年12月11日までの1年足らずで退位しました。その間に発行された切手は、普通切手4種(35)

のみになります。

しかも、新切手の発行は事前の周知なしで行われてしまったため、初日カバーは少なく、高い評価が付けられています。

ジョージ6世時代

【在位：1936.12.11～1952.2.6】

ジョージ6世時代には、戴冠式記念をはじめ7件の記念切手が発行されています。この時代の普通

切手で人気があるのは、1939年から発行された紋章図案の高額切手(8)と、1951年に発行された横長の高額切手(9)でしょう。どちらも凹版の落ち着いた色調で、高額切手の貫禄十分です。

エリザベス2世時代

【在位：1952.2.6～】

エリザベス2世の即位は1952年2月6日で、ビクトリア女王に

21位



ダウニーヘッド1d(1911年)
 ジョージ5世時代の最初の切手として発行されたが、図案のライオンとしての目立ち、痩せて見えることから、大英帝国の衰退につながるとの非難を浴びた。このため、すぐにライオンのしわを目立たなくした第2版を発行した、いわゆる付きの切手である。[180%]

22位



マーチン古城シリーズ2次£5(1992年)

マーチンの高額シリーズとして、肖像に替わって発行された。デザインはアンドルー王子が撮影した城の写真を用いている。上記はウィンザー城。長大目打が特徴。[130%]

23位



1980年ロンドン国際切手展(1980年)
 国際切手展を記念し、ロンドンの名所8カ所を組み合わせた絵を凹版で印刷。小型シートも発行した。[110%]

25位



議会700年(1965年) 1647年当時の議事堂を描く。[130%]

24位

1990年ロンドン国際切手展 小型シート(1990年)

ペニーブラックとマーチンを組み合わせ、背景にシーホース図案を配した小型シートで、イギリスならではの贅沢な図案で人気を博した。[65%]



次ぐ在位記録を続けています。

世界大戦からの復興期に誕生した女王に国民も大いに期待しました。郵便事業も大きな転換期を迎え、1969年には郵政省が公社化され、記念切手の発行も多くなり、民間企業とのタイアップによる広告付きの切手帳などが続々と発行されるようになりました。

また1971年2月15日からは十進法(デシマル)が導入され、1ポ

ンド=100ペンスに改め、シリングは廃止、ペニーの表示も従来の「D」から「P」に改められました。

(1)即位からブレデシマルの時代

エリザベス2世時代の最初の切手は、肖像の撮影者の名をとった「ワイルディングシリーズ」と呼ばれるものでした。

それまでのイギリス切手の伝統を初めて破った斜め前方に顔を向けた女王の肖像が使われ、特にこ

のシリーズの高額切手「古城シリーズ」(3)は大変人気があります。

ブレデシマル期の後期には、ワイルディングシリーズに代わって、マーチン(英語発音はメイチン)シリーズが出現しました。高額の10シリング切手(6)など格調高い色調の切手に人気が集まりました。

(2)デシマル以降、現在まで

デシマル時代の最初の発行は、額面表示が「D」から「P」へ替わっ

*十進法導入以前。

26位



エリザベス2世戴冠式(1953年)

戴冠式を記念した4種のうちの1種で、正面を向いた女王の図案は珍しい。

27位



世界ボーイスカウト50年記念大会(1957年)

ボーイスカウトのバッジとロープを図案化したもの。3種発行のうちの1種。

21～30位、エリザベス2世時代の切手が多数選出！



第6回英連邦競技大会(1958年)

大会旗と記章。3種発行のうちの1種。

28位



2種発行のうちの1種で、王冠と郵便ラッパを図案化したもの。「130%」
郵便局令30年(1960年)

※6～7ページ、特記外、150%拡大。

29位



ダイアナ妃追悼(1998年)
5種連刷、ウエールズ語表記のウエールズ版も発行。「90%」

たマーチンシリーズ(18)です。以来40年、隣線、刷色、目打などに変化があり、巨大なシリーズとなっており、現在も発行が続いています。

記念切手で人気があるのは、1980年のロンドン国際切手展記念(23)、同じく1990年のロンドン展記念ペニーブラックの小型シート(24)などです。そして忘れてならないのは、ダイアナ王妃関連の切手でしょう。1998年に発行

された5種連刷の追悼切手(29)は、特に評判が高いようです。

2000年以降に発行された切手も興味深いものは多いのですが、今回は今年のロンドン国際切手展を記念して発行された、赤いダブルヘッド切手(10)ははじめ、3件のみにとどめました。

おわりに

イギリスは1840年の切手発行以来、発行種数の少ない国でした

が、公社化以降、コレクターを対象に急激に発行種数を増やしています。これからは、イギリス切手もゼネラル収集から専門収集へと移っていくことでしょう。

イギリス切手に興味のある方々に向け、当部会ではできる限り情報を集め、お知らせしていきたいと思っています。多くの方々のご入会をお待ちしております。

(文/イギリス切手部会・吉村昭紀)



エリザベス2世(絵はがきより)

32位



シェークスピア生誕400年(1964年)

5種発行されたうちの1種。劇作ハムレットの一場面を凹版で印刷。

【31~40位】

33位



郵便貯蓄銀行100年(1961年)
3種発行のうちの1種で、ハマカンザシは英名「ユニオン」で、「儉約」を意味する。

34位



国際植物学会議
(1964年)
4種発行のうちの1種で、野ばらが描かれている。

31位



赤十字100年大会(1963年)

赤十字100年を記念して3種発行された。3種とも赤十字マークを図案化している。

※8~9ページ、特記外、130%拡大。

コラム① イギリス切手に欠かせない“切手帳”

イギリス切手を収集する上で、重要な位置を占めているのが“切手帳”です。

切手帳は、1904年のエドワード7世の時代に、手紙を書くことが好きなイギリス人が旅行などに出かけた時、出先で持ち歩けるよう考え出されたもので、6枚のペーン形式で1冊の中に2~3額面の切手が収められています。ジョージ5世の時代には、「UPU大会議」、「在位25年」(右上)の記念切手でも切手帳が発行されました。

そしてエリザベス女王の時代に入り、郵政が公社化されると民間企業とのタイアップにより、広告入りの切手帳や大型切手帳(右下)などを数多く発行するようになります。特に切手の需要が多いクリスマスの時期などには、特別な切手帳が発行されています。

今や切手帳全盛期と言えるほどで、ギボンズの専門カタログでもシート切手とは別にジャンルを設け、詳細に分類・評価しています。



在位25年切手帳(1935年)表紙。

同切手帳に収められたペーンの一部。



£1 book of stamps and the story of Wedgwood



ウェッジウッド大型切手帳(1972年)表紙。[35%]

※カラム内、特記外、45%縮小。

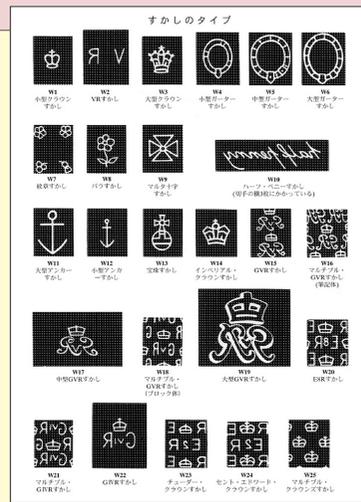
コラム② 数多くのタイプがある“すかし”

イギリス切手を語る時、重要な要素の1つとして“すかし”があります。

ペニーブラックの発行にあたり、重要な留意事項として、いかにして偽造を防止するかということがありました。さまざまな検討の結果、用紙にすかしを入れることになったのです。以来、切手のデザインが変わる度にすかしも変わるという念の入れようでした。

しかし、エリザベス2世時代のブレデシマル・マーチンシリーズから、すかしの入らない用紙を使用し、偽造の防止には罫線など印刷技術面で対応するようになりました。

「JPSイギリス切手カタログ」では、25種のすかしを分類しています(右)。これらすかしは収集対象として、多くのコレクターが楽しんでおり、すかしのエラーまでも研究されています。



25種類が使用されたイギリス切手のすかし(JPSイギリス切手カタログ2007-08より)。



35位

エドワード8世 2 1/2d (1936年)

在位1年足らずで退位したため、切手はこの図案での4種のみしかない。[160%]



36位

イギリスの鳥 アオガラ(1966年)

ヨーロッパから中東にかけて多く生息する。枝に逆さまにぶら下がっている図が面白い。[120%]



37位

野鳥保護100年(1980年)

ムナジロカワガラスはヨーロッパを代表する鳥で、ノルウェーの国鳥となっている。[110%]



38位

アボッツベリー白鳥飼育所600年 (1993年)

コブハクチョウを描いた切手で、特に白鳥の表情が美しい。[110%]

39位



メイフラワー号出航350年(1970年)

イギリスを追われたピルグリムファーザーズの人々がプリマス港から出航し、アメリカ大陸に到着したのを記念して発行された。[120%]

40位



スペイン無敵艦隊撃破400年(1988年)

1588年英仏海峡でイギリスとスペインの艦隊が戦い、イギリスが勝利したのを記念して5種連刷で発行された。[90%]

コラム③ 国の成り立ちに起因する“地方切手”

イギリスではエリザベス2世の時代に入り、1958年から地方切手を発行しています。

当初はスコットランド、ウェールズ、北アイルランドで発行していましたが、2001年からはイングランドでも地方切手を発行するようになりました。

こうした地方切手が発行された背景は、大英帝国の成り立ちに起因しています。1922年にアイルランド26州がイギリスから離れた際、イギリスの正式な名称は「グレートブリテンおよび北アイルランド連合王国」となり、現在に至りました。

このグレートブリテン(大ブリテン島)とは、イングランド、ス

コットランド、ウェールズの3国の集合体で、それらの国の独自性を表す意味で印面にそれぞれ自国の紋章を入れて切手を発行してきたのです。

これらの切手はその地方のみで発売されますが、イギリス本国全土で使用できるので、使用地域が限定された本来の意味での地方切手とは異なります。

このほか、大ブリテン島とは別に、軍事、外交以外は大幅な自治権を持ったガーンジー、ジャージー、マン島がありますが、これらは独自の通貨制度を持ち、郵政も独立していますので、現在ではイギリス切手とは別扱いです。



スコットランド



ウェールズ



北アイルランド



イングランド

現在、地方切手はスコットランド、ウェールズ、北アイルランド、イングランドの4つの地方で発行。このうち、イングランドのみ2001年からの発行で、他は1958年から発行している。



マーチンシリーズ・スコットランド版FDC [30%]

41位



トラファルガー海戦 200年(2005年)

ナポレオンのフランス、スペイン連合軍をネルソン提督が撃破したのを記念して6種発行された。[90%]



42位

コンコルド初飛行(1969年)

フランスと共同開発した大型機コンコルドの雄姿を描く。[120%]



44位

クラシックカー(1996年)
イギリスの名車を描く5種類のうち、ジャガーXJ220を描く1枚。

【41〜50位】

43位



クラシック蒸気機関車 小型シート(2004年)
カレドニアン鉄道、タリリン鉄道など6種を収めている。[70%]



45位

スコットランドのゴルフ場(1994年)
全英オープンが開催コースとして最も有名なセントアンドリュースを描く。



46位

サッカーワールドカップ優勝(1966年)
第8回大会でイングランドが優勝したことを記念し、開催記念切手に「イングランド優勝」の文字を入れて急遽発行した。「120%」



47位

ダービー200年(1979年)
第1回ニューマーケット春季競馬の模様を描いたもの。サートリアス画。

48位



1988年クリスマス(1988年)
聖家族を描く。

49位



1980年クリスマス(1980年)
クリスマスツリーを描く。



▲バッキンガム宮殿
(絵はがきより)

50位



1985年クリスマス(1985年)
おとぎ芝居の妖精を描く。

※10～11ページ、
特記外、110%拡大。

「JPSイギリス切手部会」のご案内

イギリス切手部会は、イギリスおよび英領諸国切手に興味を持つ収集家の集まりです。部会員は全国に約70名、年6回発行する部会報を通じ、情報交換、オークションなどを行っています。

東京近郊の会員は、毎月2回(第2水曜、第4日曜)集まり、情報交換、重品交換、盆回りなどを行っています。毎回10名程度の出席で、時には上京された地方会員の方が飛び入り参加されています。

【部会報では】

※会員の研究発表

※郵趣イベントへの出展、参観記

※新切手の紹介

※カタログなど関連書籍の紹介
など毎月約30ページで編集。

【毎月の例会は】

※第2水曜日 18時～

※第4日曜日 10時30分～

目白・切手の博物館3階会議室で開催。

イギリス切手を収集されている方、これから収集してみようという方、大歓迎です。お気軽にご参加ください。

【詳細は下記世話人まで】

〒141-0031 品川区西五反田5-25-2-306 吉村昭紀



「英国切手部会報」179号より。
年6回B5判カラー約30頁。